

市史へんさん

1日、小松の石文化に対し、「日本遺産」の認定証が交付されます。弥生時代から現在まで、市内で産出された石材が装飾品や建築など、さまざまな場面で活用されてきた歴史が評価されての結果です。

今年はもうひとつ、石材に比べれば短いスパンですが、曳山250年の節目にあたり、曳山子供歌舞伎の大祭が催されました。そこで今年度最初の市史講座は、この子供歌舞伎に注目し、芸能から見た250年の歴史を探ってみます。市史5巻目の「曳山編」の執筆に携われた和田修氏をお招きしての講座です。今一度「曳山編」を紐解きながら、講座へも参加してみましよう。新たな発見があるかも…。

第73回 市史講座

芸能から見た曳山子供歌舞伎

講師：和田 修 氏（早稲田大学准教授）

日 時：平成28年7月9日（土）

午後1時30分～3時

会 場：小松市公会堂4階 大会議室

受講料：無料（予約不要）

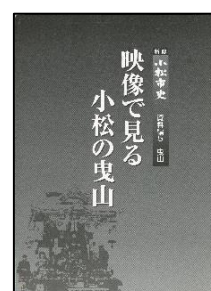
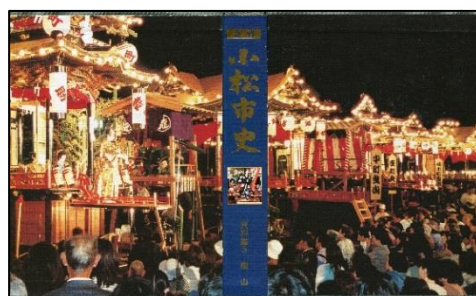
ポイント



大祭では曳山250年の歴史の重みを感じました。
講座では子供歌舞伎の芸能の深みを味わいます。

- ☆ 曳山はどうして起こったのでしょうか。曳山が成立したという明和3年(1766)に何が行われたのでしょうか。
- ☆ 曳山が始まった当初から、歌舞伎(当時は狂言という)を実演していたのでしょうか？
- ☆ 明治後期に一時期、子供役者から芸妓見習に代わりましたが、その事情は何だったのでしょうか。
- ☆ 未経験の子供が一人前の演技ができるようになる、その振付師の指導方法とは？
- ☆ 参考にした長浜の曳山に、子供に歌舞伎を演じさせるという着想がどのようにして生まれたのでしょうか。

曳山編でも検証されていますが、講座を聴くポイントとして念頭に置きながら聴講しましょう!!



新修 小松市史 資料編5 曳山

定価 5,000円(税込)
B5判 本文380頁
CD付



曳山子供歌舞伎

講座聴講前に、大まかに曳山子供歌舞伎の流れを、『曳山編』からつかんでおきましょう。なお歌舞伎という呼び方は近世では稀で、芸能の視点では狂言と呼ぶことから、**子供狂言**という言葉を用います。

明和3年(1766)に始まったとされる曳山は、初期の頃は、現在の高楼式の豪華なものでなく、**平台に車を付けた簡素な構造**で、簡単な造りであったためか、祭りには17, 8基も曳山が出て、各町の複数のグループが演じて賑わっていました。その内容も、歌舞伎を演じる芸屋台から大勢の**練り子**が先導して行列する練り物もあり、今日の曳山子供歌舞伎とはかなり異なるものでした。

一方、近世の頃は華美を理由に禁止令がよく出され、町の経済事情もあって、曳山巡業も途絶えがちでしたが、明治に入ると各地で地芝居が盛んになり、曳山も最盛期を迎えます。この頃は、芝居の質も高めようと遊郭の**見習芸妓**が演じるようになります。踊り子は男子から女子主体へ、素人から玄人へと変化します。日清・日露戦争祝勝を機に、**10町**が揃い、出費を惜しまず派手な出し物も演じられるようになります。ところが、大正に入ると急速に活気を失い、さらに追い打ちを掛けるように、昭和5年と7年の大火で、**松任町と東町の曳山が焼失**してしまいました。その後、大戦を経て、昭和22年に、京町によって復活を遂げますが、遊郭が廃止となり、**町内の女子のみの上演**となりました。その後も財政危機や踊り子の不足など多くの危機があり、1町のみの年はあっても途切れることなく現在に至っています。



京町・中町・材木町・西町・龍助町・八日市町・大文字町・寺町の曳山

<事務局6月の活動状況>

- ・ 6月 1日(水) 町家実測調査
- ・ 6月 8・9日 小松製作所資料調査(東京大学図書館)
- ・ 6月14日(火) 町家実測調査
- ・ 6月17日(金) 町家聞き取り調査
- ・ 6月24日(金) 町家実測調査
- ・ 6月26日(日) 加賀茶資料調査



<事務局7月の活動予定>

- ・ 7月 1日(金) 編さん・編集委員会
- ・ 7月 3日(日) 奉納絵馬調査
- ・ 7月 3日(日) 石工関係資料調査
- ・ 7月 9日(土) 市史講座
- ・ 7月17日(日) 町家予備調査
- ・ 7月22日(金) 町家実測調査
- ・ 7月24日(日) 考古部会

<7月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局（小松市立図書館 2階）

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>